故郷とあなたをつなぐ情報紙
ふくしまから はじめよう。

ふくしまの今が分かる新聞

vol.12
2013年10月21日
発行：福島県避難者支援課 ☎024-523-4157
※この広報誌は「東日本大震災子ども支援基金」を財源として発行しています。

本号では、子どもを生み育てやすい環境づくりを進めるための取り組みや、保護者の方も気軽に参加できる交流会情報など、県内外に避難されている子育て中の皆様の安心につながるような話題を中心にご紹介します。

福島県 新島八重 マスコットキャラクター「八重たん」

ふくしまの子どもとお母さんたちの安心につなげるために
～東日本大震災中央子ども支援センター福島窓口の取り組み～

「東日本大震災中央子ども支援センター」は、被災3県の子どもたちを継続的に支援するため、2011年10月に設立されました。福島窓口では、県内の子育て家庭や母子避難された方などに対する様々な支援を行っています。ここでは、福島窓口の取り組みについて、スタッフの富田愛さんにお話しを伺いました。

福島窓口の主な事業とは？

県内子育て支援	県内外避難者支援
避難先から戻ってきたお母さん向けのサロン「ままカフェ」の開催など	県内外の支援団体と連携しての支援

情報の発信	専門職派遣
福島窓口webサイト、避難先と福島を結ぶ情報ポータルサイト「ふくしま結ネット」の運営	県内の子育て家庭がより過ごしやすくなるための市町村等への専門職派遣

避難先から戻ってきたお母さんの居場所 ままカフェ

県内外避難者支援コーディネーター
富田 愛さん

福島窓口では、今年6月より避難先から福島へ戻ってきたママ達のためのサロン「ままカフェ」を開いています。

ままカフェは、地域の子育て支援センターの先生や、保健センターの保健師さん、子育て支援を行っているNPO法人の協力により、避難先から戻ってきたお母さんが気軽に交流できる場をつくり、それぞれの地域に戻るまでの「ワンステップの場所」になればとの思いでスタートしました。このサロンで、久しぶりの福島の生活での不安や悩みを共有しながら、参加者の皆さんが元気になっていく姿や、徐々に地域に戻る姿も見られるようになっています。

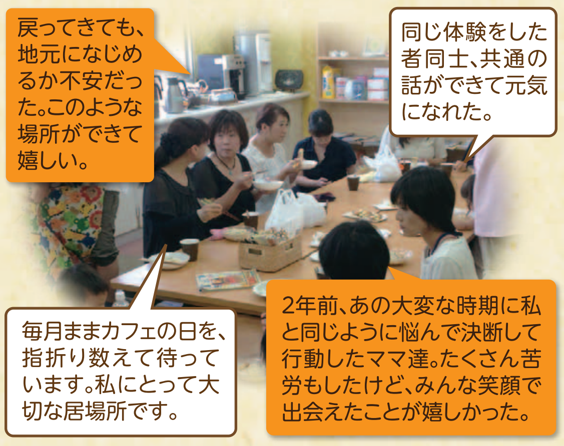
ままカフェ@ふくしま
ままカフェ@こおりやま
スタッフやママどうしで“ほっこり”おしゃべりしませんか？

これからの開催予定

ままカフェ@ふくしま	
日程	10月25日・11月22日・12月20日（すべて金曜日）
時間	10時～12時
場所	福島市保健福祉センター（福島市森合町10-1）

ままカフェ@こおりやま	
日程	11月14日・12月12日（すべて木曜日）
時間	10時～12時
場所	NPO法人子育て支援コミュニティ プチママン（郡山市富田町大徳南2-23）

参加した皆さんからの感想



戻ってきても、地元になじめるか不安だった。このような場所ができて嬉しい。

同じ体験をした者同士、共通の話ができて元気になれた。

毎月ままカフェの日を、指折り数えて待っています。私にとって大切な居場所です。

2年前、あの大変な時期に私と同じように悩んで決断して行動したママ達。たくさん苦労もしたけど、みんな笑顔で出会えたことが嬉しかった。

県外へ避難されている方々への支援

当センターの県外避難者支援コーディネーターが、避難されている方々を定期的に訪問しています（主に山形・新潟・宮城・茨城・東京・神奈川など）。震災前から子育て支援に取り組んでいる現地の支援団体と連携しながら、時間の経過とともに変化していく皆さんのニーズを敏感にキャッチし、必要な支援ができるよう心がけています。

避難している皆さんと福島を結ぶ情報発信

避難しているお母さん達と話していて、よく聞かれるのが「必要な情報を検索しても、たどり着くまでが大変です…」という言葉でした。そこで、福島窓口では、携帯電話でも検索しやすい情報ポータルサイト「ふくしま結ネット」を開設しています。

ふくしま結ネット 検索

携帯電話からはこちら

福島での子育て環境をより良くするための専門職派遣

福島で子育て中の皆さんがより安心して過ごせるよう、市町村等からの依頼を受けて専門職を派遣。運動指導士、臨床心理士、児童精神科医や保育士による、子育て中の皆さんをサポートする取り組みを行っています。

東日本大震災中央子ども支援センター福島窓口は、県外に避難している子育て中の家庭、そして、福島に戻ってきた子育て中の家庭の皆さんをこれからも応援していきます。

いつでもお気軽にご相談ください。

問 東日本大震災中央子ども支援センター福島窓口
（福島市太田町14-3 2F 中央子ども支援センター内）
☎024-573-0150
✉info-ccscd@beans-fukushima.or.jp

子どもたちが外でのびのび遊べる環境づくりを進めています

福島県では、子どもたちが「自らの責任で自由に遊ぶ」ことをモットーに、いきいきと外遊びができる「冒険ひろば」の取り組みを進めています。

冒険ひろばでは、大人たちが見守る中、野外空間で土や木、水、火といった自然のものを使い、自由な発想でいきいきと遊ぶことができます。木登り、水遊び、工作、自然を活かしたハンモックなど、遊び方は無限です。

今年度、3団体に委託し、福島市の茂庭広瀬公園、南相馬市の高見公園、会津若松市のネイチャーキッズランドの3ヶ所で冒険ひろばが運営されています。

福島市 子どもの冒険遊び場 in 茂庭

主な開設場所
茂庭広瀬公園周辺
（福島市飯坂町）

取り組み内容
公園やキャンプ場、摺上川ダム周辺の河原を冒険遊び場として、竹・木材を材料に自由な発想で行う木工や、ハンモック・秘密基地など、子ども自身が楽しいと感じる遊びを自ら生み出す環境を提供します。
※冬期期間中は、キャンプ場で雪遊びを行います。

問 NPO法人 いいざかサポーターズクラブ
☎024-529-6125

南相馬市 みんな共和国 冒険ひろば in 高見公園

主な開設場所
高見公園［道の駅南相馬隣り］
（南相馬市原町区高見町）

取り組み内容
家族が安心できる環境で休日を楽しめる場所を提供します。また、プレーリーダーの提案により新たな取り組みを行うとともに、ものづくりなどの創造性の育成も行います。冬は県内のスキー場を冒険ひろばの場所として、雪合戦や散歩などを行います。

問 一般社団法人 みんな未来センター
☎0244-26-9653

会津若松市 ネイチャーキッズランド

主な開設場所
あいづキッズケアセンター内
（会津若松市高野町大字上高野字村内127）

取り組み内容
幼児や小学生とその家族を対象として、会津の身近な自然（植物・樹・昆虫・水の生き物など）に接し、自然を通じて遊びの楽しさを知っていただく活動を行います。
※気候や天候により、室内のホールを活用し、木材などを活かした遊びを展開します。

問 学校法人 白梅
☎0242-23-7511

それぞれの冒険ひろばの開設日は、子育て支援課のホームページに掲載していますのでご確認ください（常設の遊び場ではありません）。開設日であれば、いつでも無料で遊ぶことができます。

子育て支援課 冒険ひろば 検索

問 福島県子育て支援課
☎024-521-7198

子どもの医療費助成
18歳以下の医療費無料化について

福島県では、子どもの健康を守り、安心して医療が受けられる環境づくりを進めるため、県内に住所を有する18歳まで（18歳に達する日以降の最初の3月31日まで）のお子さんに対して医療費の助成を行っています。

助成内容
健康保険適応の診療を受けた時に支払うべき自己負担額（診療費、入院時食事療養費等） ※健康保険が適用されないもの（予防接種など）は助成対象とはなりません。

助成を受ける場合の手続（受給資格の登録など）については、お住まいの市町村にお問い合わせください。

県外に避難されている方で、福島県内の市町村に住民票を有している場合、対象となります（県外の医療機関で受診された場合は償還払い扱いとなりますので、手続きの方法はお住まいの市町村にご確認ください）。

～ 医療は大切な資源です、適正受診にご協力ください～

ふくしまの赤ちゃん電話健康相談

妊娠中や小さなお子さんに関する健康や育児の不安、悩みに助産師がお答えします。

こんなお悩みありませんか？
- 夜泣きがひどいけど大丈夫かしら･･･
- 母乳は足りているかしら･･･
- 母乳を飲ませても大丈夫かしら･･･

対象者	県内の妊産婦・乳幼児の保護者 ※県外に避難している県民の方、県内に里帰りしている方も利用できます。
内 容	(1) 妊産婦の健康相談、母乳相談、子育ての相談 (2) 母乳の放射性物質濃度検査と保健指導
相談電話	福　島／①024-573-0274　②080-2835-9988 会　津／0242-85-8303 いわき／①080-2826-4604　②080-2827-3005
相談時間	月～金曜日（祝祭日を除く） 9時30分～16時30分

○相談は無料です。相談内容の秘密は必ず守ります。

問 福島県 児童家庭課
☎024・521・7174

県外にお住まいの方へ
県民健康管理調査「健康診査」のご案内

県外に避難されている方々を対象に、県外の提携医療機関で「健康診査」を受診できるよう順次ご案内しています（費用は無料です）。

対象者
震災時に避難区域等13市町村※に住民登録があった方及び平成25年4月1日現在住民登録のある方で、福島県外に避難されている方。
※田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村の全域及び伊達市の一部

※上記対象の方で、11月上旬までにご案内が届かない方、福島県内で受診を希望される方は、左記までご連絡ください。

※申込期限は市町村により異なりますので、案内をご覧ください。

問 福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター
☎024・549・5130

ホールボディカウンター（WBC）による内部被ばく検査について

県民の将来にわたる健康管理のため、県外において車載式WBCによる検査を行っています（要予約）。検査内容は、放射性セシウムなど体内にある放射性物質を測定し、おおむね一生の間に受けると思われる線量を推計するものです。

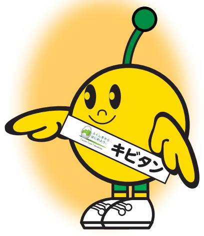
検査費用	無料 ※検査会場までの交通費については、各自ご負担願います。
対象者	東京電力福島第一原子力発電所での事故発生当時に福島県内に居住し、その後、県外に避難されている方 ※4歳未満の幼児については、要件があります。

開催地	検査会場	住所	日程
茨城県	日本原子力研究開発機構 東海研究開発センター	那珂郡東海村白方白根2-4	10月～12月
岩手県	盛岡地区合同庁舎	盛岡市内丸11-1	11月14日～16日
	奥州地区合同庁舎江刺分庁舎	奥州市江刺区大通り7-13	11月17日・18日
宮城県	仙台市泉区役所職員研修棟第1研修室	仙台市泉区中央2-1-1	11月20日～25日
	名取市保健センター	名取市増田字柳田244	11月27日～12月2日
京都府	福利厚生センター	京都市上京区下立売通 新町西入薮ノ内町	12月13日～19日
兵庫県	兵庫県庁1号館	神戸市中央区下山手通5-10-1	12月21日～26日

問 福島県 県民健康管理課
☎①080・5743・5867
②080・5743・5868
受付時間 9時～17時（土・日・祝祭日を除く）
※お申し込みは、検査の3日前までにお願いします。

「子ども・被災者支援法」による
被災者支援の充実を要望

福島県では、東京電力福島第一原子力発電所事故により被災者が抱える様々な課題や不安に対し、本県の実状や被災者の意向を十分に反映したきめ細かな支援が行われるよう、政府による「子ども・被災者支援法（※）」の基本方針の策定に当たり、次のとおり復興大臣に対して要望を行いました。



1 健康管理、医療の確保

- 「被災者の生涯にわたる定期的な健康診断」及び「子ども・妊婦の医療費の減免」や「その他被災者への医療の提供に係る必要な施策」について、本県の実状等に沿ったものとなるよう、明確な方向性を示し、必要な措置を講じること。
- 18歳以下の県民の医療費無料化に関する施策について、継続的な財政措置を講じること。

2 子育て支援

- 子どもの支援に関する交付金や基金について、本県の実状に沿う弾力的な運用と継続的な財政措置を講じること。

3 住宅の確保

- 応急仮設住宅の供与期間延長や、借上住宅の住み替えなど長期避難に伴う課題に対する必要な対応を講じること。

4 財源の確保と新たな課題への柔軟な対応

- 各種支援施策の推進に当たり、地方公共団体に財政的な負担が生じることがないよう、十分な財源措置を講じること。
- 避難生活の長期化に伴い新たに生じる課題に対しても、本県の実状等を踏まえ、迅速かつ柔軟に対応すること。

※子ども・被災者支援法とは？

2011年3月11日に発生した東日本大震災に伴う東京電力原子力事故の被災者、特に子どもに配慮して行う生活支援等に関する施策を推進し、被災者の不安の解消及び安定した生活の実現に寄与することを目的として制定された法律。

県内イベント情報

郡山市 自然豊かな環境での日帰り保育を実施しています！

イメージ

9月2日から、自然豊かな環境での保育に取り組む保育施設「ココカラ」が開園しました。郡山市湖南町での日帰り保育等を実施しています。郡山市中心部から湖南町まで、毎日送迎バスで移動します。自然教育や畑の収穫体験とともに、iPadを使用したIT教育も行います。（郡山市「がんばろう！郡山」雇用復興・創出事業委託事業）

郡山市保育園 ココカラ　検索

問 NPO法人移動保育プロジェクト
☎024・925・0245

いわき市 小名浜国際環境芸術祭2013

イメージ

アクアマリンふくしまでは、全国からオリジナル大漁旗を集めた「大漁旗デザイン展」や「アート・カツオ展」、海の生物をシールで作って飾る参加型企画の「キッズ壁画展」など、海をテーマとした楽しいアートイベントが開催されます。

日時 11月10日（日）まで

問 環境水族館アクアマリンふくしま
☎0246・73・2525

県内各地 ふくしまスマイルキャラバン

ふくしまの子どもたちに心も体も元気になってもらうとともに、ふるさとである福島に誇りを持ってもらうため、県内各地域で応援メッセージなどの展示とイベントを開催します。

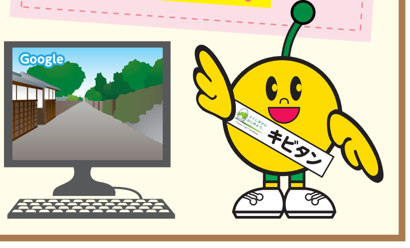
	内容	期間・日時	会場
県中	展示会	11月1日（金）～10日（日）	福島空港
	イベント	11月9日（土）	
会津	展示会	12月12日（木）～23日（月・祝）	福島県立博物館 ※12月16日（月）・17日（火）休館
	イベント	12月22日（日）	
いわき	展示会	1月12日（日）～19日（日）	小名浜さんかく倉庫
	イベント	1月19日（日）	いわき・ら・ら・ミュウ

展示会
福島県の子どもたちを応援する人気漫画家、スポーツ選手、芸能人、本県出身の著名人などから寄せられた子どもたちへの応援メッセージやゆかりの品を展示します。

イベント
よしもと芸人によるトークショーやワークショップ、キビタン体操など、親子で楽しめるイベントを開催。

問 福島県子育て支援課
☎024・521・7198

Googleマップのストリートビューでふるさとの今の姿をお伝えします！



福島県と「復興と防災に関する連携協定」を締結した、インターネット検索大手グーグルでは、津波で被害を受けた沿岸部や原子力災害により避難区域に指定された地域を撮影した現在の様子を、ストリートビュー（※）で公開しています。

また、グーグルの『未来へのキオク』プロジェクトでは、震災前と直後、震災から3年目の現在の変化の様子を、比較してご覧いただくこともできます。ぜひご活用ください！

※ストリートビューとは？
地図上の任意の地点をその場にいるかのように、インターネットから360度のパノラマ写真を見ることができるサービスです。

対象のエリア
いわき市、二本松市、南相馬市、伊達市、広野町、楢葉町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村

未来へのキオク　検索

県外での支援イベントのお知らせ

栃木県　栃木避難者母の会 県南 ざっくばらんおしゃべり会

避難されているお母さん達が本音で語れる場を提供し、つながりを持てるようにしています（託児所付き）。

日時	11月3日（日・祝）10時～15時
場所	とちぎ市民活動センターくらら（栃木市境町19–3）
問	栃木避難者母の会（担当/大山）☎090–5189–5616

千葉県　「縁joy・東北」in千葉県マザー牧場　参加費あり

福島、宮城、岩手3県職員による被災地の現状説明と、専門家による健康・法律相談あり。お昼はジンギスカンを囲んでご歓談いただけます。

日時	11月16日（土）11時～16時
場所	マザー牧場（千葉県富津市田倉940–3）
問	NPO法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ（担当/風間・鍋嶋）☎043-303-1688

愛媛県　3.11をきっかけに愛媛にこられた方々の交流会

ボランティアの方々の心温まる手料理を囲みながら、子どもから大人まで集って楽しめる交流会です。ミニイベントも企画しています。

日時	11月9日（土）12時～ ※毎月第2土曜日
場所	石手寺内（愛媛県松山市石手9–21）
問	NPO法人えひめ311 ☎089–947–2750

※その他地域の交流会等の情報についても、下記サイトでご覧いただけます。

全国に避難されている方々のための地域情報サイト

避難されている方々へ　検索

http://fukushima.jpn-civil.net/

携帯からもご利用できます。

よりそいホットライン

どんなひとの、どんな悩みにもよりそって、一緒に解決する方法を探します。

24時間 通話料無料

▶福島・岩手・宮城専用
0120-279-226

▶上記3県以外の全国用
0120-279-338

に電話をする。▶ 音声ガイダンスが流れます。相談したいことを選んでください。

1. 暮らしの中で困っていること、気持ちや悩みを聞いてほしい方
2. 外国語による相談（Helpline for Foreigners）English（英語）・中文（中国語）・한국어（韓国・朝鮮語）・Tagalog（タガログ語）・ภาษาไทย（タイ語）・Español（スペイン語）・Português（ポルトガル語）
3. 性暴力、ドメスティックバイオレンスなど女性の相談
4. 性別や同性愛などに関わる相談
5. 死にたいほどのつらい気持ちを聞いてほしい方

※携帯電話（PHS）、公衆電話からもつながります。電話番号をお確かめのうえ、おかけください。

電話相談の専門員がお待ちしています。ひとりで抱え込まずにお電話ください。

お悩みつぶやきサイト Moyatter ◀ 電話で伝えにくい方は、インターネットで匿名にて相談できます。http://moyatter.jp　この事業は復興庁及び厚生労働省社会・援護局の補助金事業です。

編 集 者
福島の秋探し、といえば紅葉！今はまだ青みが残る夏井川渓谷（表面の写真）も、きっと「今が分かる新聞」が読者の皆様に届く頃には、さらに素敵に色づいていることと思います。ただ、気象庁が発表した長期予報では、今年は全国的に寒い冬になりそう…。くれぐれもお体には気をつけてお過ごしください！【トモ】